

(様式2)

# 学校関係者評価報告書

(愛媛県立土居高等学校)

学校番号 ( 3 )

評価実施日		令和 7 年 2 月 14 日 ( 金 )	
委員	氏名	所属等	備考
	合田 泰之	四国中央市立土居中学校 校長	継続
	藤田 喜一郎	四国中央市立土居文化会館	新規
	戸梶 裕士	伊予銀行土居支店 支店長	継続
	阪中 洋	福助工業株式会社 人事部長	継続
	烏谷 康恵	千足神社 宮司	新規
	森高 大輔	土居高等学校PTA会長	新規

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<b>学力・進路指導</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・生徒の学習態度は落ち着いている。笑顔でのびのびと取り組んでいる。</li><li>・グループ活動を取り入れ、生徒の理解力の差をカバーし、理解につながっている。教員の指示も適確である。</li><li>・家庭学習時間は特に1年生で伸びており、目標に達したクラスもあった。</li><li>・進学では、丁寧な個別指導により、2学期中に希望者全員が進路決定をした。</li><li>・就職では、地元企業を中心に、2学期中に希望者全員が内定をいただくことができた。今年度は久しぶりに県警合格者が出た。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・授業評価アンケートの結果から、ICTを活用するなどして理解をしやすく、でそう思うが84%となっており、学校全体でICTを活用した授業がかなりなされている。お互いに切磋琢磨することで改善されてきているので、来年度も引き続き一人一台端末の効果的な活用方法について検討していきたい。</li><li>・家庭学習時間について、時間が伸びてきているので、適切な課題の出し方を検討していきたい。</li><li>・進学について、国公立大、難関を目指す生徒がなかったので、もう少し上を見せたい。</li><li>・今年度は、公務員試験でわずかに点が足りず面接まで進めなかった生徒がいた。公務員にも事業所にも合格できるよう頑張らせたい。</li></ul>
<b>生徒指導・安全教育</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・身だしなみについて、校則検討委員会で検討し、以前よりも髪型の規制を緩くしたにも関わらず、昨年度よりも身だしなみの合格率が下がった。今の校則と生徒たちの希望する髪型がずれてきている。</li><li>・四国中央警察による月一回程度の見守り、自転車の車体点検などを行った。登下校の指導にもう少し対応したいが難しい。</li><li>・交通事故は2件、大きな事故やクレーム等もなく、とても落ち着いている。自転車の施設調査をしているが、その効果が出てきている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地元中学校では校則検討委員会で検討により、男女同じ髪型、長さとなっている。今後そのような意識を持った生徒、保護者が入学してくることが考えられる。その生徒に配慮しながら、生きやすいように受け入れていくなど、ジェンダーの対応を考えていきたい。</li><li>・警察や保護者と連携をしながら、すべての生徒が安全に登下校できる対策を進めていきたい。年度当初は交通事故を含めて特に重点的に指導をしていきたい。</li></ul>
<b>豊かな人間性・個性の伸長</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ボランティア活動や交流活動について、目標にはわずかに届かなかったが、積極的に参加している。</li><li>・生徒及び教員が減少する中で、部活動の維持が難しくなっている。部活動に入部をしても、時間が経つにつれ参加しない生徒もかなり見られる。そのような中、陸上競技部や地域デザイン部が県大会レベルを超える生徒が育っている。部活動の再編成、活性化、魅Can部の活動等について、具体的に検討する必要がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域で継続して実施されているボランティア活動には、更に積極的な参加を呼び掛けたい。特定の生徒に負担が掛からないようにしていきたい。</li><li>・部活動の維持、活性化のために、リーダーの育成を図りながら、途中退部者を減らす方策を考えたい。</li></ul>
<b>地域との連携・学校の魅力化</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ラブリバー活動等、地域独特のボランティア活動に継続して参加している生徒がいる。</li><li>・過去の土居高校のイメージがなかなか払拭できず、魅力化の妨げになっている。</li><li>・四国中央市内の中学生の市外、県外への流出は増加をしている。学校だけでは対応できないのが現状である。</li><li>・ホームページだけでなく、プレスリリースを行い、学校の情報発信に努めた。新聞記事等に取りあげられたり、ケーブルテレビで放送されたりすることで、地域の方に本校の活動を知ってもらうことができた。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校の魅力について、積極的に情報発信に努めたが十分伝わっていない。本校のよさを地域の小中学生、その保護者に届ける方法を考えたい。</li><li>・学校の魅力化を引き続き実施し、地域の中学生にアピールしていきたい。魅Can部の活動等も積極的に発信していき、生徒確保に努めたい。</li></ul>
<b>現職教育・業務改善</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・教職員の時間外労働時間の減少については、できることから簡素化、外部化に取り組んだが、昨年度より若干改善したものの達成率は低かった。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・生徒数の減少による教職員数の減少もあり、時間外労働時間の減少にはなかなかつながらないが管理職による積極的な声掛け等を行い、改善に努めたい。</li></ul>
<b>その他・全般</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校評価アンケートでは、どの項目も生徒の満足度は高く、生徒一人一人に寄り添った学校の指導の成果として表れている。</li><li>・実業系資格取得者は年々増加している。女子生徒も資格取得をしており、進路実現に生かしている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自己肯定感の低い子どもの生徒の割合がとても多い。つらい思いを持つつつも、土居高校を自分の居場所として友達と頑張っていこうとしている子どもたちの存在をしっかりと受け止め、関わっていきたい。</li></ul>